

Column

イクメン(真の父親への
助走期間?)と呼ばれて

阿部 博志
工学研究科
量子エネルギー工学専攻
講師



私はイクメン(らしい)。自分の子育て状況を周囲に説明すると、まずそう言われるから。3歳と1歳の娘がいて、妻は職場も分野も違うが同業者。基本的に週の半分は妻が関東に単身赴任。したがって我が家では、家事・子育ての大半を曜日毎に分担している。おかげで料理こそしないものの、いわゆる“ワンオペ育児”なるものを存分に経験させてもらっている。

これが結構しんどい。職場では普段ろくに携帯しなかった携帯電話を常に傍らに置いて、保育園からのエマージェンシーコールに備える。帰宅してからも私と娘たちの不安・焦りがリンクして、ちょっとした綻びが大決壊に繋がる。覆水盆に返らず。やることなすこと全てが悪手。日中はあんなに時間が無かったのに、時計の針が非常にゆっくり進む。抱っこで両手がふさがっているから、足を活用するしかない。きっと体幹を鍛えるのには良いのだろう、と無理矢理ポジティブ思考に。ああ、結局テレビとお菓子に頼ってしまった…。ようやく寝てくれたけど、この部屋どこから片付けよう…。

そうは言っても、本来子育ては素敵な発見に溢れていて、楽しいものだ(研究と同じ)。私は育児に行き詰まると、開き直って「わ〜ん」と娘たちと同じように泣いてみる。すると彼女たちは急に静かになって、「よしよし」してくれたりする。正攻法だけでは通用しないので、いろいろと試行錯誤してみる。また、娘たちが「何のために生まれて、何をして生きるのか〜♪」と無邪気に歌っていると、こちらは背筋が伸びる思いになって、明日も頑張ろう、楽しもう、と勇気がわいてくる。

Report

開催報告 第6回TUMUG Café
「えっ?朝に熱がー!!!こんな時どうしますか?」~休む?休まない?休めない?!!~

日時:10月19日(木)12:00~13:30
会場:農学研究科総合研究棟1階 大会議室(青葉山新キャンパス)
話題提供者:病後児保育室「星の子ルーム」
看護師 遠藤典子氏、保育士 吉田沙織氏
参加者:23名(関係者含む)



今回は、星の子ルームの施設、利用方法のご紹介と、「病後児保育室ってどんなところ?」「利用するには何が必要?」「こんなときは利用できるの?」「空き状況は?」といった皆様の疑問にお答えしました。

開催報告 東北大学男女共同参画セミナー
「研究者ってなに?」[TUMUG Forum]編

日時:10月30日(月)15:30~18:00
会場:多元物質材料研究所 南総合研究棟2(材料・物性総合研究棟1)大会議室(片平キャンパス)
講師:御手洗 容子 氏(物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 副拠点長 同 耐熱材料設計グループ グループリーダー)
前川 素子 氏(国立研究開発法人 理化学研究所 脳科学総合研究センター 研究員)
小谷 元子 氏(東北大学材料科学高等研究所 所長)
参加者:セミナー 35名、茶話会 18名(関係者含む)



様々な分野で活躍する女性研究者から「研究職の魅力」をテーマに、研究内容と研究生活の実際、次世代へ向けたメッセージなどをお話いただきました。茶話会では、次世代を担う若手からベテランの研究者まで、参加者同士の相互交流を行いました。

開催報告 第1回マネジメントセミナー
「自分らしく輝き続けるために Lead the Self」

日時:11月16日(木)16:00~17:00
会場:片平北門会館 2階 エスバス(片平キャンパス)
講師:永田 亮子 氏(日本たばこ産業株式会社 執行役員 CSR 担当)
参加者:27名(関係者含む)



各界で活躍する女性リーダーに、女性リーダーのありかたや必要とされるスキル、上司として仕事を行う中で部下を育てるために大切にしていることなどをお話いただきました。男女問わず、上位職・管理職から大学院生まで幅広い世代の方にご参加いただき、活発な質疑応答も行われました。

Information

TUMUGメーリングリストに登録しませんか?

本センターでは、支援制度やイベントの最新情報をメーリングリストでいち早くお届けしています。現在約550名の方が登録しており、新規登録も随時受付中です。右QRコードよりは是非ご登録ください。

役立つ情報満載!



東北大学基金を活用して
星の子保育園を整備

平成30年4月1日に、青葉区八幡町に星陵地区部局に所属する職員等が利用する新たな事業内保育所「星の子保育園」が開園します。定員は120名、国立大学の事業所内保育所としては有数の規模になります。この事業は、東北大学基金に寄せられた篤志家様からのご遺贈により実現したもので、そのご遺志を未永く未来につなげ、さらなる医療の充実に努めていきます。



Activities

センター関係者による活動状況
(2017年10月~2017年12月)

- 大隅 典子(副センター長)
10月15日 WCPG2017 Gender Gap Session, Floridaに出席
10月30日 九州大学男女共同参画FDにて講演
11月7日-8日 ICSU Gender Gap Workshop, Taiwanに出席
- 大隅 典子(副センター長)、藤村 維子(特任講師)、瀬戸 文美(助手)
11月27日 The Sasakawa Peace Foundation(SPF) International Project Planning and Development DepartmentのProject Coordinator Lily Yu博士と意見交換
- 藤村 維子(特任講師)
10月14日 第15回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムにてポスター発表
11月1日-3日 2017 Asia-Pacific Women in Leadership workshop, Sydneyにて口頭発表



「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。



片平まつり2017「あなたもハカセ!~サイエンス・エンジェルと学ぼう~」

Progress

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業の進捗状況

第1回 東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩(むらさきせんだいはぎ)賞」創設

本賞は、東北大学において優れた研究を展開する女性研究者に対しその活躍を讃えることで、研究意欲の一層の増進に繋げ、世界トップリーダーとなるような女性研究者の育成を目的とします。同時に、本賞の授与により女性研究者の活躍を促進することで、本学の研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出に繋げることを目的とします。

第1回目の募集は12月18日(月)に締め切り、表彰式は3月9日(金)午後に行います。また、受賞者による研究発表は、同日開催の第3回管理職セミナーにて行います。

《応募条件》

対象は本学に所属する女性研究者(准教授・講師・助教の他、研究を職務に含んでいる者、日本学術振興会特別研究員、科学技術振興機構研究員等を含む*)とし、学術上優れた研究成果を挙げたと認められる者とします。
なお、教授(特任教員を含む)・学生は応募できません。

*1 但し本学の直接雇用以外の場合、副賞(研究教育費)を配分できない場合があります。

《表彰の方法、専門分野ならびに件数》

受賞者には、表彰状ならびに副賞(研究教育費として1名あたり25万円)を授与します。受賞者は、人文・社会科学分野、理学・工学分野、農学・生命科学分野、歯医学・保健分野の4分野から各1名以内とします(該当者がいない分野には、優秀女性研究者賞の授与はありません)。



平成29年度 東北大学女性教員採用促進事業「(2)ポストアップによる女性上位職移行策」

採択部局のお知らせ | 法学研究科、理学研究科、情報科学研究科、流体科学研究所、東北メディカル・メガバンク機構2件 (申請6件のうち6件採択)

モンテレイ工科大学(メキシコ)代表団がセンター来訪



12月1日(金)に、モンテレイ工科大学代表団が本センターを訪問しました。永次史副センター長(多元物質科学研究所 教授)、藤村維子特任講師、瀬戸文美特任助教が出席し、本センターの歩み、本学の現状、今後の課題などについてプレゼンテーションし、モンテレイ工科大学代表団から同大学で行われている取り組みをご紹介頂きました。その後、互いの男女参画活動に関する意見交換を行いました。

東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp
WEB http://tumug.tohoku.ac.jp/



Program

平成30年度 TUMUG支援事業および 杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業募集のお知らせ

平成30年度「TUMUG支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)」および「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」の募集がはじまります。公募要領をご確認の上、是非ご応募ください。

対象者一覧

男性教職員 男子大学院生 女性教職員 女子大学院生

両立支援	女性リーダー育成	次世代育成
TUMUG 支援事業		
<p>研究支援要員</p> <p>内容 A型:研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助(上限100万円) B型:大学から事務補佐員を派遣(週1~2日)</p> <p>対象者 出産・育児・介護を行う教員・技術職員</p> <p>締切 2月16日(金)</p>	<p>リーダー研究支援要員</p> <p>内容 大学から事務補佐員を派遣(週1~2日)</p> <p>対象者 国の審議会委員等の要職に就く女性教員</p> <p>締切 2月16日(金)</p>	<p>東北大学サイエンス・エンジェル</p> <p>内容 高校等での出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント企画・実施</p> <p>対象者 自然科学系部局に所属する大学院女子学生</p> <p>締切 第1回 3月23日(金) / 第2回 5月2日(水)</p>
<p>ベビーシッター利用料等補助</p> <p>内容 研究、講義、出張時のベビーシッター利用料等の補助(子ども1人あたり上限5万円/半期)</p> <p>対象者 育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等</p> <p>※詳細は要項を確認のこと</p>	<p>スタートアップ研究費</p> <p>内容 1年目100万円、2年目50万円の研究費を支援</p> <p>対象者 新規採用の女性教員(助教以上)</p> <p>締切 7月9日(月)</p>	<p>仙台Iゾンクラブ 東北大学大学院女子学生のための国際学会発表渡航支援</p> <p>内容 海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援(上限15万円)</p> <p>対象者 大学院女子学生</p> <p>締切 6月頃</p> <p>※詳細は5月に通知予定</p>
<p>研究スキルアップ経費</p> <p>内容 会議・シンポジウム等の旅費支援(海外:上限30万円、国内:上限15万円)</p> <p>対象者 女性教員(准教授、講師、助教)</p> <p>締切 第1回 4月10日(火) / 第2回 10月上旬</p>	<p>杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業</p>	

<p>研究支援要員</p> <p>内容 C型:大学院生をRA・AAとして雇用するために必要な人件費の補助(上限40万円)</p> <p>対象者 出産・育児・介護を行う女性の教員・技術職員</p> <p>締切 2月16日(金)</p>	<p>「科学研究費助成事業」フォローアップ</p> <p>内容 科研費に不採択の研究課題を支援</p> <p>対象者 女性教員(准教授、講師、助教)</p> <p>締切 5月15日(火)</p>	<p>ダイバーシティ研究環境実現のための部局等による取組支援プログラム</p> <p>内容 環境整備および意識の醸成を目的として開催するセミナー等の取組を補助(上限15万円)</p> <p>締切 6月15日(金)</p>
<p>国際学術論文作成のための英文校閲費用補助</p> <p>内容 英文校閲費用を補助(上限5万円)</p> <p>対象者 女性教員(准教授・講師・助教)</p> <p>締切 第1回 3月23日(金) / 第2回 6月15日(金) 第3回 9月14日(金) / 第4回 12月14日(金)</p>	<p>お問い合わせ先</p> <p>●TUMUG支援事業に関して 男女共同参画推進センター TEL 022-217-6092 E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp</p> <p>●杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業に関して 総務企画部総務課総務係 TEL 022-217-4811 E-mail danjyo@grp.tohoku.ac.jp</p> <p>※プログラムによって対象と締切が異なります。 ※各部署担当係を通じての申請となります。各部署における締切にご注意ください。 ※詳細はセンターWebページをご覧ください。</p>	

支援制度 利用者の声

私は、出産後に医学系研究科障害科学専攻の博士課程後期に入学しました。入学した頃はまだ子供が小さく手のかかる時期で、また夫の長期海外出張の同伴のために休学したりなど、約5年をかけて今年の9月ようやく博士号を取得しました。

多くの女性にとって、家族や家庭と、学業や仕事を両立することは非常に大変で、悩ましい問題だと思います。私が学位を取得できたのは、もちろん夫や家族の理解とサポートによるところが大きかったのですが、特に東北大学に子育てをしながらでも学位を取得できる、様々な支援体制があったことです。

今回ベビーシッター利用補助制度による温かいご支援を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。(ベビーシッター利用料等補助を利用)

学位記授与の様子

イベント情報

第7回TUMUG Café 「支援制度を活用しよう！」

日時:2月1日(木) 12:00~13:30(途中入退場自由)
会場:男女共同参画推進センター(片平キャンパス)
対象:教職員、学生(男女問わず)
申込:センターWebページ、右QRコードより事前登録、当日参加可(希望者は弁当代実費※飲み物は各自持参)

今回は、上記支援制度についての説明会として開催します。質疑応答も行いますので、お忙しい時期かと思いますが、皆さんの参加をお待ちしています。

TUMUG Caféの様子

参加登録フォーム

平成29年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動

開催報告

片平まつり2017 「あなたもハカセ!~サイエンス・エンジェルと学ぼう~」

日時:10月7日(土)・8日(日) 10:00~15:30
会場:エクステンション教育研究棟1階ロビー(片平キャンパス)

SA8名が実施したカラフル人工いけらの作成体験ブースでは、2日間で500名近い子どもたちが体験しました。SAの活動や研究生生活を紹介するポスター展示も行いました。

第50回記念ガス展 「東北大学サイエンス・エンジェルと作ろう!シュワシュワ・バスボム作り」

日時:10月13日(金)・15日(日) 10:30~18:00 ※15日は16:00まで
会場:仙台国際センター展示棟

SA15名が子どもとその保護者を対象に、炭酸ガスが発生するバスボム(入浴剤)を自作するワークショップを行いました。3日間で延べ350名の方にご参加いただきました。

サイエンスアゴラ2017 「東北大学サイエンス・エンジェルに聞け!理系の進路」

日時:11月25日(土) 10:15~13:15
会場:東京・お台場 テレコムセンタービル 3階 ミニステージJ

SA3名がSA/SAOGへのアンケート結果などをまとめたパネル展示を行い、来場者と「なぜ理系に女性が少ないのか?」をテーマにディスカッションを行いました。

平成29年度 宮城県高等学校文化連盟 自然科学専門部 第2回生徒研修会

日時:12月25日(月) 13:10~14:10
会場:仙台市若林区文化センター

県内高校の自然科学系部活に所属する高校生約70名に向けて、SA3名が研究や研究生生活の魅力に関するプレゼンテーションを行いました。

[出張セミナー]	[母校出張セミナー]	[大学訪問]
<p>11月9日(木) 13:40~14:35 宮城県立宮城第一高等学校 参加者...約80名 参加SA...7名</p>	<p>10月25日(水) 13:00~14:00 私立藤女子高等学校 参加者...約150名</p> <p>11月4日(土) 13:00~15:00 私立市川高等学校 参加者...約60名</p>	<p>11月11日(土) 10:00~14:30 山形県立山形西高等学校 会場:農学研究科総合研究棟および各研究室(青葉山新キャンパス) 参加者...21名 参加SA...8名</p> <p>12月6日(水) 10:00~14:40 山形県立山形東高等学校 会場:農学分館ラーニング・commonsおよび各研究室(青葉山新キャンパス) 参加者...22名 参加SA...8名</p>

イベント情報 「研究者ってなに?~SAOG編~」

日時:3月10日(土) 13:00-15:00
場所:片平北門会館2階 エスバス(片平キャンパス)
対象:女子学生・大学院生、女子中高生、その他サイエンス・エンジェルに興味のある方
講師:サイエンス・エンジェルOG

本学を修了して研究職として活躍する若手の女性研究者(SAOG)複数名から研究内容や日常生活・ワークライフバランス等について話を聞く機会を提供し、理系進路や研究職の実際とその魅力をお伝えします。講演終了後には、交流会も開催します。

是非ご参加ください!

Pick Up! Natureダイジェスト×サイエンス・エンジェル

専門分野の異なるサイエンス・エンジェルが、Natureダイジェストの記事を読んで感じたことや疑問に思ったことを話し合う座談会記事が、NatureダイジェストのWebに定期的に掲載されます。第1回目の記事は「イモムシに腸内細菌がいらない?」ぜひお読みください!

<https://www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/howtouse/contents/2>

イベント情報

是非ご参加ください! 一般の方もぜひご来場ください!

平成29年度第3回スキルアップセミナー 「英語科学論文の書き方と英語プレゼンテーションのコツ」

日時:2月21日(水) 15:30~17:15
会場:東北大学 知の館 3階講義室(片平キャンパス) 予定
対象:若手研究者、学生、教職員(男女問わず)
申込:センターWebページ、右QRコードより事前登録(空席がある場合は当日参加可)

長年英語論文の校閲に携わり著書も数多く出版されている、野口ジュディー津多江先生をお迎えし、英語科学論文を執筆する際のポイント、英語による科学発表時の準備方法などを解説していただきます。

野口ジュディー津多江氏

第14回東北大学男女共同参画シンポジウム 「性・生・制を考える」

日時:1月28日(日)講演13:00~17:00 茶話会17:00~
会場:星陵キャンパス 医学部開設百周年記念ホール(星陵オーデトリウム)
申込:入場無料。どなたでも参加可能です。予約不要のため、当日は直接会場にお越しください。

未来の男女共同参画社会に向けて、学内外の皆様とともに考える機会をもちたいと考えております。当日は、澤柳記念賞授賞式および受賞者による講演の後、特別講演とパネルディスカッションを行います。茶話会も行いますので、ぜひご参加ください。

「学内での活動」

工学系女子・女性教員のための ALicE Women's Lunch Meeting ~東京大学大学院 大島まり先生を囲んで~

日時:12月7日(木) 12:00~13:30
会場:カタールサイエンスキャンパス(青葉山東キャンパス)

工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE)が「工学分野における女性リーダーの育成」を目的として、大島まり教授(東京大学大学院情報学環及び生産技術研究所/日本機械学会創立120年初の女性会長[2017年度(第95期)])をお招きし、女性研究者として輝き続ける秘訣をご紹介します。交流会も行われました。